



樹齢を重ねた上質な木材の香りに包まれ、
心地よい清浄な空間が生みだされています。



樹齢約3千年のヒノキなど貴重で品質の高い木材を使用。

順調に建築が進んでいる新本堂は、完成予定日までいよいよあと一年余りとなりました。
檀信徒の皆様方よりご奉納いただいた瓦もすっかりと葺かれ、美しく堂々としてしかも優しい姿の屋根ができあがりました。
現在は建物内部の壁や床、天井などを造っています。安全のため、皆様が現場を見学することとはできません。その代わりに、この記事で内部の様子を少しでも感じていただければと思います。
屋内に入ると、たちまち何ともいえない香気に全身を包まれます。普通の木材の匂いとはひと味違う、樹齢を重ねた木ならではの、深く優しい香りです。

これらの上質な木材が、伝統工法で美しく組み上げられているのです。新本堂は、きつと訪れるすべての人にとって心安らぐ空間になるでしょう。完成がほんとうに待ち遠しいですね。

たとえば天井板には良材として知られる秋田杉の無垢材を使用し、その樹齢は約千年。さらに、お位牌を奉納する壇の手前、ご先祖様をお参りされる方が立つ位置にあたる床材には、なんと樹齢約三千年の台湾檜を使用します。幅三尺、長さ三間半、厚さ一寸五分の一枚板で、これほど大きな檜板はなかなか求められず、現在の建築物ではほとんど見られません。



前廊から見上げた光景。木組みの美しさが際立っています。

峯のたより

みね

私たちのお寺、長泉寺の会報誌。

新装刊

002号

2007年4月25日発行

〒981-1505

宮城県角田市角田字長泉寺69番地

電話 0224 (62) 1004

FAX 0224 (63) 0063

http://www1.odn.ne.jp/chosenji/

曹洞宗
六国峯

長泉寺

国際環境規格ISO-14001認証取得のお寺

宮城県省エネルギー大賞の 奨励賞をミネ幼稚園が受賞！

ミネ幼稚園が推進している環境教育活動が認められ、このたび平成一八年度宮城県自然エネルギー等・省エネルギー大賞の「省エネルギー促進部門奨励賞」を受賞しました。三月二十七日（火）には宮城県庁で授賞式が行われ、県知事より表彰されました。

対象となった活動は、「みやぎ省エネ行動宣言」として毎日実行している電力と水道の使用量削減です。園児と職員全員が楽しく取り組んでいる点が、高い評価を受けました。

今回の受賞を励みとして、寺院部門、幼稚園部門ともに今後「ISO・14001」活動に取り組んでまいります。

AED講習を実施しました。

長泉寺とミネ幼稚園では先日、合計三台のAED（自動体外式除細動器）を備えましたが、いざという時に適切な対処ができるよう、三月二十七日（火）、消

防署から講師を招いて救急講習を実施しました。

また、車椅子も新たに購入し、高齢者や体の不自由な方にも安心して訪れていただくために、設備の充実を目指しています。

能登半島地震被災地のため、 義援托鉢を行いました。

三月二十五日（日）、北陸地方を襲った震度六強の大地震により、被災地では今も多くの方々が大変なご苦勞をされています。

そこで長泉寺では四月六日（金）、能登半島の皆様への義援金を募るため、義援托鉢を行いました。角田市内を巡り、読経をして援助を訴えたところ、たくさんの方から合計一万六〇二五円の義援金が寄せられました。

義援金は、共同募金会を通して被災地へ寄付いたしました。皆様のご協力に感謝します。



能登半島義援托鉢の様子

教育テレビに小川棟梁が出演。

NHK教育テレビ『こころの時代』で四月八日（日）、長泉寺本堂の棟梁をされている鶴工舎主・小川三夫氏出演の「木と話し、人を育てる」が放送されました（昨年十一月の再放送）。

本堂を建築している若い宮大工さんたちの姿も放送され、ひたむきな仕事ぶりとアットホームな雰囲気を感じられました。放送後、このような立派な宮大工さんに私たちのお寺の本堂を再建していただきありがたい、と喜びや感謝の声がたくさん寄せられました。

長泉寺境内を整備しました。

長泉寺境内における春の整備状況について、お知らせします。

自然環境の整備としては、墓地と北側通路の樹木を伐採し、植物生育のために適度な調整を行いました。また、アーモンドの木やサクラの木など十数本植樹しました。

その他、ミネ幼稚園入口前に東屋を設置しましたので、保護者の皆様のご歓談やお墓参の休憩所としてご利用ください。

長泉寺 散策

文山廟
牟宇姫の墓石



伊達政宗公息女であり石川宗敬公夫人の「牟宇姫」といえば、毎年ひな祭りの時期に角田市郷土資料館で開催されるひな人形展でおなじみです。しかし、その牟宇姫のお墓が長泉寺にあることは、意外と知られていません。石川氏菩提寺の長泉寺には、歴代の角田城主一族をまつる廟所がありますが、そのひとつ「文山廟」に牟宇姫の墓石があります。郷土の歴史に想いを馳せながら、ときにはゆっくりと長泉寺境内を散策し、牟宇姫をお参りしてみたいかがでしょうか。





住職を何て呼べばいいのかな？

田辺聖子原作、朝のNHK連続ドラマ『芋 たこ なんきん』を楽しく見られた方も多いと思います。この私もその中の一人でした。舞台が大阪のため小気味よい関西弁がポンポンと登場して、何ともリズム感のよいドラマでした。さて、話の中に住職が登場するのですが、「ドラマの中でご住職を（関西弁で）何と呼んでいるのですか？ 方丈さん教えて下さい」と幾人かのひとに尋ねられました。

ドラマの中では、オジユッサン、ゴインサンと呼んでいました。オジユッサンとは御住持さま、ゴインサンとは御院主さまの訛りで、ともに寺の住職という意味です（院主…寺院の主、つまり住職）。これとは別にホウイン（法印）さんと言う場合がありますが、これは住職というより僧侶全般を指す言葉です。

また禪寺の住職をホウジョウ（方丈）サンとも言いますが、方丈とは本来一丈四方つまり畳四畳半の部屋という意味で、天竺の維摩居士の居室が方丈の間だったことから言われるようになりました。

映画『男はつらいよ』では、笠智衆が扮する帝釈天のご住職をゴゼンサマ（御前様）と呼ぶようですが、御前様には住職の意味は一般的にはなく、ただ住職を尊んで言っているのだろうと思います。

先年、私の晋山式にお出でいただき御導師をいただいた前曹洞宗管長で前大本山總持寺貫主の板橋興宗禪師は、「役職を退いたのだから俺のことを禪師と呼ぶな。禪師と呼んだら返事をしないぞ。方丈サン、或いは和尚サンと呼べ」と言われました。しかし、誰もが畏れ多くて今でも禪師の呼称のままに慕い、禪師も相変わらずオーイと返事しています。ところで私もまだまだ未熟者の修行僧、ホウジョウサンと声をかけられるたびに首がすくむ思いをしています。

峯のたより★おすすめ本

小説『坊ちゃん』のモデル

関根萬司―紹介者／堀川三四郎―

勝山一義・著

表題作は、新潟県の関根学園高校の元校長である著者が、夏目漱石の小説『坊っちゃん』の主人公は、学園創立者である関根萬司氏がモデルではないかと仮説し、綿密な取材をもとに論文にまとめたものです。

その関根萬司氏は、なんと明治期の宮城県第四中学校（現在

の角田高校）で数学教師として勤務していたとのこと。また、同じく漱石の小説『三四郎』のモデルと思われる堀川三四郎氏も英語教師として角田高校に在籍していたなど、郷土の歴史と文豪の代表作に深い縁を感じて楽しめる、おすすめの一冊です。



発行所：ホコ自習館
TEL：025-559-2078
頒布価格：1,000円

プレゼント当選者発表

◆『不揃いの木を組む』（小川 三夫・著）当選

【角田市】大内トシ子、小田川 かつ子、櫛田 由男、志伯 久土、鈴木 勇男、百々 文男、渡辺 征一、渡部 智子
【仙台市】秋山 源悦 【丸森町】小野 明美（敬称略／計10名様）

◆『めざすは飛鳥の千年瓦』（山本 清一・著）当選

【角田市】我妻 哲子、大槻 寿雄、佐藤 義衛、三文字 容子、柴口 由美子、千葉 えい子、豊岡 浩一 【丸森町】佐藤 睦男
【福島市】高橋 佳美 【北海道】遠藤 洋平（敬称略／計10名様）

「不揃いの木を組む」の著書当選の由にて思わぬ幸運に喜んでおります。御寺の本堂改築の最なかこの本を頂き生涯の記念として孫たち迄読み伝えて参りたいと存じます。（櫛田由男様のお手紙より）

当選者様から
寄せられた
喜びの声

希望する本「めざす飛鳥の千年瓦」
お読みいただきありがとうございます。
私は角田高校の数学教師として勤務して
いたこと、また、同じく漱石の小説『三四郎』の
モデルと思われる堀川三四郎氏も英語教師として
角田高校に在籍していたこと、郷土の歴史と文豪の
代表作に深い縁を感じて楽しめる、おすすめの
一冊です。

私宅は角田に住み百年近く粘土瓦製造を営んで来たのですが（中略）我が家の者達が山本師の一代記を拝読し、祖父や父親の苦勞をしのぶ事が出来たら幸だと話合い、応募させていただきました。（千葉えい子様のお手紙より）

おしらせ

お位牌奉納のお申し込みはお早めに

昨年よりご案内差し上げておりますように、新本堂の両室内（ご本尊様の両隣り）と位牌堂には、希望される皆様方のお位牌を安置し、永代にわたってご供養いたします。

数百年先までを視野に入れ、日本の伝統工法で建てられる新本堂、そして堅牢な防火構造を採用した位牌堂は、皆様方のご先祖様を大切にお守りします。広々としたスペースを確保しているため現在よりも多くのお

位牌を安置することができ、まだ十分に受付可能ですが、奉納を希望される方はできるだけお早めにお申し込みください。近日中に申込書を配布いたしますので、この機会を逃さずお申し込みをご検討ください。ますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



奉納用お位牌見本



大／三方総金箔押位牌 [高さ：39.0cm]
小／三方金札黒塗位牌 [高さ：27.5cm]

お位牌奉納イメージ▶

おたより募集中！

下欄の宛先までご郵送いただくか、直接お持ちください。

長泉寺の広報・会報誌『峯のたより』は、現在進行している本堂再建事業と同じように、私たち皆の手でつくりますものです。角田から発信する文化事業として意義ある誌面づくりをめざすため、どうか積極的なご参加をお願いします。

たとえばこんなおたよりをお待ちしています。

- ◆仏教、曹洞宗、禅などについてのご質問
- ◆本誌やお寺へのご意見・ご要望など
- ◆角田の風物や文化・歴史をテーマとした俳句・短歌・写真などの作品
- ◆身近なニュース、日常の中で見聞きした面白いできごとなど、自由なテーマでのおたよりもお気軽にお寄せください！

〒981-1505

宮城県角田市角田字長泉寺69番地
長泉寺『峯のたより』発行所

左記の宛先へおたよりを
いただいた方から抽選で

5名様にプレゼント!!

曹洞宗の檀信徒であり、日本の歴史を題材にした細密画などを作風とする画家・高橋アキラさんの作品を、抽選で5名様にプレゼントします。

この「本尊曼陀羅」は、四国霊場八十八カ所に安置されている本尊を写真家の櫻井恵武さんが撮影し、その写真集などをもとに高橋画伯が細密画として制作したもの。約八十八日間かけて「一筆三札」の思いを込めて描かれたという、見事な作品です。

プレゼントご応募の締切は6月末日！
★おたよりはいつでも大歓迎です！



本尊曼陀羅 [観音曼陀羅・薬師曼陀羅] 二幅セット
未表装、それぞれ縦 90cm × 横 130cm、高精細印刷
※表具・額入れ等は当選者様ご自身でお願いします